



「臥竜鳳雛」



*タイトルの意味は？調べてみよう

2019・9・2 第8号

学年主任 森本 聡一郎

1. 「いよいよ2学期開始！」 学校モードに切り替えよう

暑かったですね。夏バテせずに乗り切れたでしょうか。

新学期が始まるに当たり、気持ちの切り替えはできているでしょうか。家での自由な生活にドブプリと浸(つ)かっていた人は、規律ある生活に早く戻ることができるように努めてください。生活の乱れをいつまでも引きずらないようにすることです。残暑もまだまだ続きますから、健康管理と気持ちの切り換えができないと、すぐにダレてしまいます。長い2学期には、自分の弱さに負けないように、具体的な目標を持って努力することが大切です。よく、「〇〇の秋」とか言いますが、〇〇の中に自分なりの充実や躍動を感じさせる言葉を入れていきましょう。

体調と健康管理、心の中にはしっかりとした目標を

《諸注意》

※生活面

- ①生活リズムの調整。規則正しい生活時間帯に戻していくこと。朝夕涼しく、日中は残暑厳しいという、日較差(にちかくさ)が大きな時期を迎えますから、体調管理が出来ないと集中力の持続が難しく、簡単に切れてしまいます。
- ②服装を整えよう。みんなが頑張れる環境と雰囲気大切にしよう。逆にだらしない格好がもたらす悪影響を考えよう。
- ③休業中に良くない習慣が身についているのなら、きっぱり断ち切ること。

※学習面

- ①学習習慣の差が大きな学力差になって現れ始めるのはここからです。その意味では2学期は勝負所です。
- ②夏季休業中の宿題・課題は必ず提出すること。たとえ遅れても、必ず受け取ってもらうこと。提出物をしっかりしていないと、成績不振の時に、担任や学年はキミをフォローしきれません。
- ③2学期からは学習内容が格段に難しくなります。それだけでなく、中だるみの時期ですから、気を抜いていると遊園地のフリーフォールのように一気に落下してしまいます。フリーフォールと決定的に違うのは、確実に元の位置に戻ってくる保証がないことです。

2. 「9月の行事予定」 各課題の提出日を厳守すること

- | | | |
|----|--------|----------------------------|
| 9月 | 2日(月) | 大掃除・始業式 |
| | 3日(火) | 課題考査(①英語 ②数学) ③以降は授業(7限まで) |
| | 4日(水) | 課題考査(①国語 ②理科) ③以降は授業 |
| | 6日(金) | キャンパスカウンセリング |
| | 13日(金) | キャンパスカウンセリング |
| | 15日(日) | 2年生修学旅行出発(～18日) |

3. 「防災の日」 9月1日

大正12年(1923年)のこの日、午前11時58分にマグニチュード7.9の大地震発生。この「関東大震災」による死者は9万9千人。行方不明4万3千人。

風水害、大雪、落雷、地震など恐ろしい自然災害は避けて通れません。昔から怖いものを並べて、「地震・雷・火事・親父」と言います。現代の「おやじ」は怖いよりも臭いだけの存在になってしまっています。給料が現金の手渡しから銀行振り込みになり、いよいよその存在は明細書よりも薄っぺらになった感さえあります。

しかし、地震の恐ろしさは相変わらずトップに位置付けられています。その発生は防ぎようがないだけに、普段から災害対策は怠りなくしておきたいものです。自分の命や他人の命を守ることが最優先です。

9月1日は大正関東地震(関東大震災)の発生と教訓を記憶に留めようと『防災の日』になりました。兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)の後には『防災とボランティアの日』が定められましたが、こちらはもちろん1月17日です。

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)のマグニチュード9.0というのは、大正関東地震の4.5倍、兵庫県南部地震の1.450倍に相当するのだそうです。死者・行方不明を合わせて2万人超、そして原発の放射能漏れによる未曾有(みぞう)の大災害はいつ終焉(しゅうえん)するかしれない状態です。

「がんばろう!日本」を合言葉として、みんなが今生きることの意味や、今自分にできることを考え直す年になりました。考え直す年と言っても、被災地の方々にはこの数年で済むわけがありません。我々一人ひとりが希望の灯になれるといいですね。

4. 「2学期にひとこと」

森本聡一郎

「天高く馬肥ゆる秋」。古代中国では、定住している農耕民族が収穫期を迎える頃に、北方の騎馬民族が軍団を構成して略奪にやってくるのです。「美味しいものがいっぱい食べられる季節」というよりも、「外敵の襲来に注意しなければいけない季節」という警告の意味です。しかし、「花より団子」。今年も美味しく篠山の秋をいただきます。

西本 智子

この2学期には文理選択がありますが、「まだ自分がどうなりたいのか、何がしたいのかわかりません」という声を聞きます。このような人は、まずは目の前のことに前向きに取り組んでみてください。

地域探究のテーマをとことん追究する、苦手科目の学習にたっぷり時間を注ぐ、毎週の小テスト完全合格を目指す、資格試験に挑む、部活動で毎回課題を持って練習する、本を読んだり人と話したりする等——どこか気になっていたけれどそのままにしていたことがあるなら、ぜひやってみましょう。これは自分の成長につながりますし、結果的に行き着くところが自分の進むべき道なのかもしれません。このことは、Planned Happenstanceというすでに提唱されている理論でもあります。

沖守 春樹

2学期は2年生になることを見据えて努力してください。3学期は高校入試があり、授業時数は多くありません。2学期が終わると、あっというまに2年生。後輩ができ、先輩になります。学校の中核になります。2年生になった自分をイメージしてください。どうですか、今日からの過ごし方が見えてきましたか。

石元 真理

夏休みが終わり、いよいよ長い二学期のスタートですね。そう、一年生の二学期は「長い」んです！そこで、皆さんに意識してほしいことが2つあります。

1つは、学習習慣の確立です。予習→授業→復習のサイクルのもと、自分の学習スタイルを上げることが肝要です。試行錯誤しながら、日々の学習に取り組んでください。2つ目は、短期目標を持つことです。まずは二学期中間考査までの学習目標を立て、部活動や、趣味・習い事での目標を立てましょう。

長い期間だからこそ、一年生だからこそできる取り組みがあります。今一度初心に戻って、何事にも丁寧に取り組むことを心より期待しています。

稲谷 英俊

夏休みは楽しく過ごせましたか。充実度は人それぞれかもしれませんが、2学期がやってきました。2学期は授業が多く、内容もどんどん難しくなっていきます。いつまでも夏休み気分であったり、高校生活に慣れてきて油断していたりすると、すぐに成績に表れます。文理選択も迫り、自分の進路を決める大事な時期です。しっかりと気持ちを引き締めて、2学期を良い形でスタートしましょう。